

## 令和4年度 近代美術館 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務外非行ゼロ	新任者不祥事防止教育及び所内会議等を通じて法令遵守意識を共有するとともに、綱紀保持の通知があるたびに注意喚起を図った。 【達成】
セクハラ・わいせつ行為、パワハラ防止	セクハラ、わいせつ行為、パワハラ事例はゼロ	所内会議、ミーティング等の機会に啓発資料を用いて、自己点検を実施した。【達成】
美術作品・資料・備品の適正管理・保管	美術作品・資料の紛失事故ゼロ、美術作品・資料の損傷ゼロ	定期的な点検作業に加えて、複数の職員による管理・保管に関する手続きの確認を徹底した。【達成】
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出、ウイルス感染はゼロ	情報セキュリティ研修（新任者・上半期・下半期）を実施し、適切な管理について注意喚起するとともに、記録媒体の定期的な点検を実施した。【達成】
交通事故、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故及び酒気帯び運転はゼロ	庁内メールの他、所内会議において啓発資料を配付し、自己点検を実施することで注意徹底を図った。 【達成】
適正な業務執行体制の確立	適正な業務執行体制の確立	業務分担の明確化と主任・副主任制を意識したチームでの業務対応について、会議及び日常のミーティング等を活用して徹底を図った。【達成】
危機管理体制の確立	実効ある危機管理体制の確立	PFI事業者との定例会議等の場において、自然災害を含む緊急対応の体制を共有するとともに、避難訓練を実施し、指揮系統等を再確認した。【達成】
財務事務等の適正執行	不適正な経理処理ゼロ、決算関係資料の誤りゼロ	財務事務において相互チェック、業務協力体制等の徹底を図ったが、定期監査において、会計事務の不備について指摘があった。【未達成】

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(所属長意見)

所属職員のうち、会計年度任用職員が半数以上を占めることから、一定程度の新任者が生じる現状の中、職員行動指針の周知の他、服務規律の徹底等について指導に努めた。

過去に発生した美術品の紛失事案への大きな反省から、不祥事ゼロプログラムに掲げた項目について、概ね緊張感をもって取り組むことができたが、一部の項目において不備があった。

過去の事故の教訓を風化させることなく、全ての職員が高い規範意識を保持しながら業務に向き

合うことが重要であることから、令和5年度のゼロプログラムの実施においては、勤務形態を踏まえたより効果的な研修の実施や注意喚起を徹底し、各項目の目標達成を目指す。